

ALLwatch Tips

2016 年 6 月号
オムロンソフトウェア株式会社

バックナンバーは M2M センサネットへのログイン後に「取扱説明書」ボタンで表示する画面から参照ください。
「ALLwatch[®]」は弊社が提供するモニタサービスの総称です。

Ior 対応絶縁監視装置 LM-100-3G の機能紹介(1)

2016 年 6 月に発売開始しました Ior 対応絶縁監視装置「LM-100-3G」ですが、既存機種 SW150LF/LF8 より様々な点で機能強化・機能拡張した端末となっております。今回はロガー機能に関するご紹介を致します。

「LM-100-3G」は一般的な遠隔絶縁監視装置が持っている「閾値(通常は 50mA)超過で警報発報」機能だけでなく、随時測定している計測値を端末内の記憶領域に格納する「ロガー機能」を実現しております。標準設定では機能 OFF となっております。ロガー機能をご利用いただくためには ALLwatch センタ画面より設定を ON にしてください。(下記画面内①)

また、ロガー機能にて記録したデータについては、「1. ALLwatch センタにてデータ取得を行なう」または「2. 端末本体に挿入したメモリカードに書き出す」のいずれかにて取得が可能となります。なお、**1. の操作は従量課金対象となります(契約サービスによっては無料オプション契約要)ので注意のほどお願いいたします。**

1. ALLwatch センタにてデータ取得を行なう場合

- ・右画面中央部②にて取得対象期間と取得間隔の条件指定を行ないます。
- ・指定後、③の「件数取得」ボタンを押下して取得予定件数を確認します。件数が多い場合、エラーが発生することがありますので、その場合には条件変更をして再実行してください。
- ・件数確認後、④のボタンを押下してデータ取得を行ないます。取得したデータは計測データ一覧にて確認できます。



2. 端末本体に挿入したメモリカードに書き出す場合

※本操作をする前に、端末本体にメモリカード(microSD サイズ)を挿入しておく必要があります。

(右図赤丸の場所に挿入)

- ・右上画面例より、⑤のボタンを押下すると、挿入したメモリカードへの書き出しが開始されます。センタへのデータ取得と異なり、端末本体に格納されたデータ全てがメモリカードに書き出されます。



この案内に関するお問い合わせは、下記のフリーダイヤルにて承っております。



0120-053-606(土・日・祝日を除く 9:30~17:30 (12:15~13:00 を除く))